

設置説明書

ナチュラルストリームガーデン ストリームキット ロングサイズキット <C50STR100>



水質維持のため、常時ポンプを稼働させるようにして
ポンプを停止する場合は夜間のみにして下さい。
【冬季は再稼働時に配管などが凍結していないか確認して下さい。】

設置工事担当者様へ

- 本製品には、土壌、石材、植物及び、排水用配管は含まれておりません。別途ご用意下さい。
- 各グレードアップキットの接続については各説明書をご確認下さい。
- 本書は、設置工事用の説明書になります。水中ポンプの説明書は別紙をご参照下さい。
- 設置完了後、本書は施主様(日常ご使用になる方)へお渡し下さい。よろしくお願い致します。

この度はストリームキットをご購入頂き、誠にありがとうございます。
設置工事の前に本書をよく読み、警告、注意事項をよく守り施工して下さい。

また、施工前に4ページを参考に梱包内容と数量を確認してから、
設置作業を行って下さい。

万一不具合、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

グローベン株式会社		URL http://www.globen.co.jp Email info@globen.co.jp
本社(営)	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-829-0800 FAX 052-829-0801	
関東(営)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-13 KHビル1階 TEL 03-5829-9511 FAX 03-5829-9523	
関西(営)	〒666-0016 兵庫県川西市中央町18-26 TEL 072-755-8075 FAX 072-755-8077	
商品センター	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-619-6788 FAX 052-619-6786	

目次

• 表紙、連絡先	1
• 目次	2
• 注意事項	3
• 梱包内容	4
• 各部の名称	5

設置手順

1：地面の掘削	6
2：貯水部分の準備	7
3A：貯水部分の設置 A	8
3B：貯水部分の設置 B	9
4：小川部分のシート仮敷設	10
5：大きい石の固定	11
6：配管の接続	12-13
7A：吐水口の接続 A	14
7B：吐水口の接続 B	15
8：各部分の仕上	16-19

お願い

• 注意事項、日常のお手入れ	20
----------------	----

本書に含まれない内容(別紙)

- グレードアップキット説明書
- 水中ポンプ説明書
- 水中ポンプ製品保証書

注意事項



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- ・設置の際は周囲の安全を確保して下さい。
- ・小川の水は飲料用水としての使用はしないで下さい。
- ・水を取り出す蛇口などには「飲料禁止」の表記を明示して下さい。
- ・本製品は庭に小川を作るキットです。違う目的に使用しないで下さい。
- ・排水が逆流しないようにして下さい。
- ・清掃などの目的で、ポンプピットを開ける場合にはペットや子供が転落しないようにして下さい。
- ・設置後に貯水部上や周囲2m程度の範囲に、建築構造物などを設置したり、車両が載り入れたりしないようにして下さい。
- ・水中ポンプなど電気製品の設置は必ず専門の施工業者などに相談して、専用の漏電ブレーカーを取り付け、感電事故を起こさないようにして下さい。
- ・粘土層を掘削した場合は、同じ粘土で埋戻しを行って、掘削した水が貯まらない様に対策を行って下さい。
- ・掘削時に地下水が出た時は施工を中止し、地下水の水位を確認して下さい。地下水の水位が貯水部分の水位より高くなった場合は、自動給水などの設備が別途必要になります。
- ・伏流水によって発生した損害は、天災と同じく責任は負いかねますので、現場状況により、ポンプによる排水などの対策を別途行って下さい。



注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- ・設置工事の際には安全を確保して、器材の下敷きになったり、ケガをしない様に十分注意して下さい。
- ・設置、使用前に器材や配管に破損や水漏れが無いか確認して下さい。
- ・設置中、設置後に関わらず、小川の設置箇所付近で火気を使用しないで下さい。器材の変形や破損の恐れがあります。
- ・各器材は定期的に点検、清掃をおこなって下さい。
- ・清掃に際しては、有機溶剤を使用しないで下さい。

20ページも合わせてご覧下さい。

梱包内容

施工する前に以下の部品が全て揃っているか確認して下さい。

A ストリームフォール C50STR200 入数:1台 シリコン、フランジ、 ネジ6本付属 入:40Aメネジ 	B ポンプ:ECO-X13000 C40TC1300 入数:1台 電源コード:10m 出:40Aオネジ 	E ストリームブロック C50STR203/C50STR2031 入数:ラージパネル:77枚 スモールパネル:88枚 	F バルブボックスA C10PM100A 入数:2セット  フタ  150φ塩ビ管
C ポンプピット C50STR201 入数:1台 	D ポンプピット延長 C50STR202 入数:1台 	E (continued) ラージパネル サイズ:D407× W690×H20mm スモールパネル サイズ:D410× W390×H20mm 貯水部分に使用します。 組み立てると11個のブロックになります。	F (continued)
G ポンドシートA C50FS1311S 入数:1枚 3.0×11.0mサイズ 防水性のゴムシートです。 小川部分に使用します。 小川	H ポンドシートB C50FS1607S 入数:1枚 6.0m×7.0m 防水性のゴムシートです。 貯水部分に使用します。 貯水	I 不織布 C50SJ100 入数:3巻 1.0×50.0m ポンドシートの保護布です。	J 水位計ユニット C50STR2041 入数:1セット  水位計 50φ塩ビ管
K ポールバルブ 40A C10PB040 入数:2個 40Aネジ 	L リバッドホース C40MT040N 入数:6.0m φ40 	M ホースクリップ C15HB140W 入数:6個 	N 樹脂製ユニオンジョイント C15UN040W 入数:1個 40Aネジ 
O タケノコニップル C15HN040R 入数:6個 40Aオネジ*φ40ホース 	P 樹脂ソケット C15S4040FFR 入数:1個 40Aメネジ*40Aメネジ 	Q 樹脂ニップル C15N4040MMR 入数:1個 40Aオネジ*40Aオネジ 	R ポリエチレンパイプ C15PE040 入数:15.0m(40A) 40A 
S メスアダプター C15PA4040FR 入数:1個 40Aメネジ*40Aパイプ 	T オスアダプター C15PA4040MR 入数:1個 40Aオネジ*40Aパイプ 	U メネジ付チーズ C15PS4040R 入数:1個 40Aメネジ*40Aパイプ 	V プチルテープ C30PH001 入数:1巻 20m(50mm幅) 
W シールテープ C10SB600 入数:1巻 15m(13mm幅) 	X フィッティング C15FT040R 入数:1個 40A 	Y 再生樹脂縁材/板材 C30KP002-1 入数:1枚 1.8m×0.1m t=9mm 	Z 角パイプ用キャップ A50LK023 入数:2個 20mm*30mm 
あ アルミ胴縁 ブロンズ A50LBS203L-100 入数:2本 20mm×30mm×100mm 	い バラ ステンレスビス A50KU025N 入数:8本 	う GB 透水シート C30SAB200N 入数:1枚 1m×1m t=0.5mm 水が通る透水シートです。 貯水部分に使用します。	え 樹脂マット ガードフィルターグレー C50TFS113 入数:2枚 

別途ご用意して
頂く必要のある物

- 各種工具
- 排水用配管、接続部材(40A)
- 石、岩、砂利
- 砂、土
- 植栽

各部の名称

各部の名称と配置は下図のようになっていきます。

とすい 吐水部分

小川のスタート部分です。
水の出る部分以外は、石や
草花で隠す事が出来ます。

小川部分

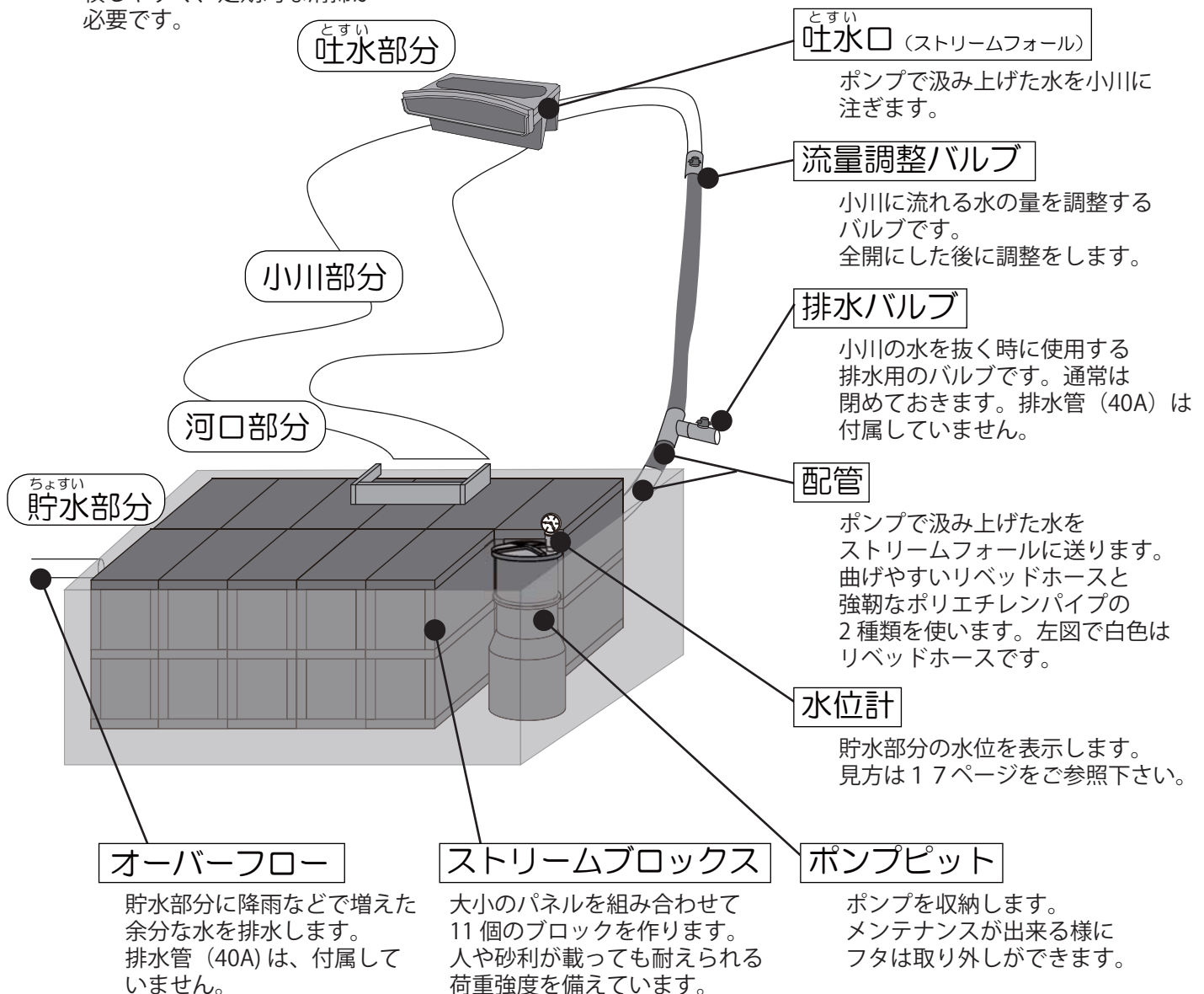
景観を楽しむ主となる部分で
す。段差部分や側面は手順に
従って正しく掘削して下さい。

ちよすい 貯水部分

ストリームキットに流れる
水を貯留する部分です。
土を掘って各器材を入れます。
ロングサイズキットでは、
約 2640 リットルの水を貯留
します。

河口部分

小川の末端で貯水部分に流入
する箇所です。ゴミや砂が堆
積しやすく、定期的な清掃が
必要です。



とすい 吐水部分

とすい 吐水口 (ストリームフォール)

ポンプで汲み上げた水を小川に
注ぎます。

流量調整バルブ

小川に流れる水の量を調整する
バルブです。
全開にした後に調整をします。

排水バルブ

小川の水を抜く時に使用する
排水用のバルブです。通常は
閉めておきます。排水管 (40A) は
付属していません。

配管

ポンプで汲み上げた水を
ストリームフォールに送ります。
曲げやすいリベットホースと
強靱なポリエチレンパイプの
2種類を使います。左図で白色は
リベットホースです。

水位計

貯水部分の水位を表示します。
見方は 17 ページをご参照下さい。

オーバーフロー

貯水部分に降雨などで増えた
余分な水を排水します。
排水管 (40A) は、付属して
いません。

ストリームブロックス

大小のパネルを組み合わせて
11 個のブロックを作ります。
人や砂利が載っても耐えられる
荷重強度を備えています。

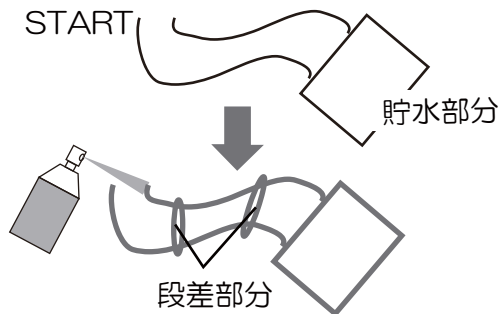
ポンプピット

ポンプを収納します。
メンテナンスが出来る様に
フタは取り外しができます。

設置手順：1 地面の掘削

貯水部分と小川部分を形造ります。

1 小川のイメージを地面に書く

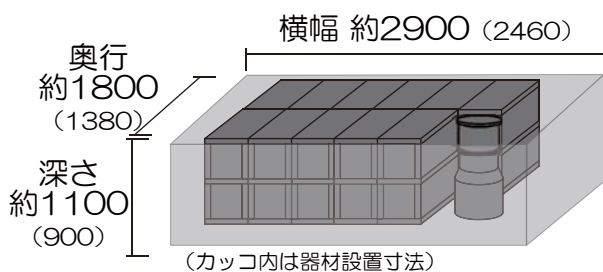


計画している小川の形を地面の上にロープやテープを使って描き、その上をスプレーでなぞります。段差を作る場所もマークをします。

! ロングサイズキットは全長10mです。

One Point! 仕上がった時にどんな向きや角度から眺めるか、どんな大きさの石や植物を配置するか想定して進めましょう。

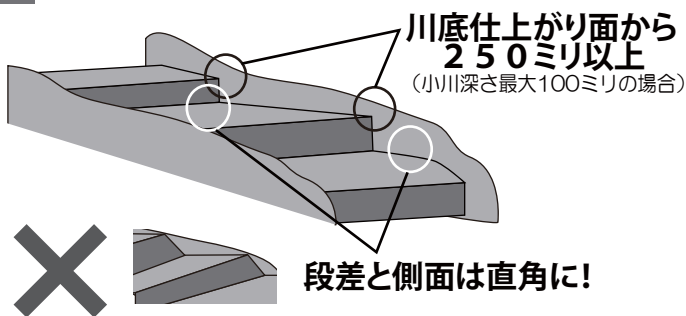
2 貯水部分を掘ります。



貯水部分にはストリームブロックとポンプピットが図のように入ります。(カッコ内は器材設置寸法) 片側200ミリ以上の余裕を持って掘ります。貯水部分の側面と底は、まっすぐ平らになる様掘って下さい。掘り出した土は、小川部分の造成に使わない場合は処分して下さい。使う場合は予め小川の形状に合わせてと作業し易くなります。

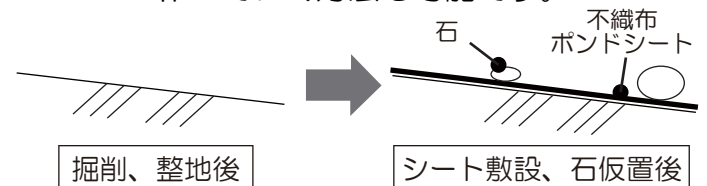
※地下水が発生した場合は対策が必要です。

3 小川の部分を掘ります。



段差滝と側面部分は直角をになる様に心掛けて、側面と段差の一番近い部分は250ミリ以上を確保して下さい。少ない場合には水が横に漏れ出す恐れがあります。

One Point! 勾配の緩い傾斜地に小川を作る場合は階段状に掘削せずに勾配を利用して、作っていく方法も可能です。

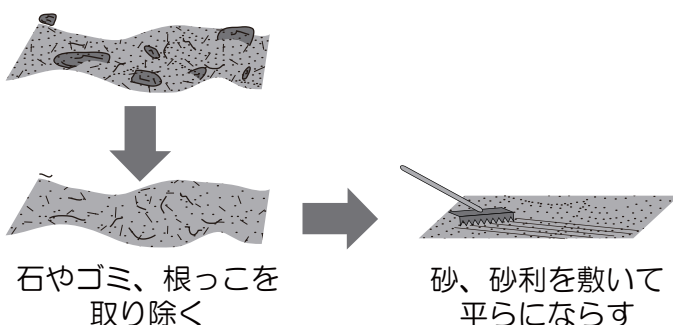


仕上がり時の目安

掘り出す場合には2-3倍程度大きめに掘り出して、仕上げの石や砂利で少しずつ埋め戻す様にして下さい。

川幅：最大800ミリ 小川深さ：最大100ミリ

4 石や植物の根などを取り除き、地面をきれいに整地します。



土を掘り出した部分にある、石やゴミ、植物の根を取り除いた後、底面を固めて平らにします。底面に砂を100ミリ程度で敷き詰め、均等にならして十分しめ固めて下さい。

One Point! 植物の根が成長して、小川部分にまで伸びて来る恐れがある場合は、バンブーカット（別売品）を使って、破損するのを防ぎます。



設置手順：2 貯水部分の準備

ストリームブロックとポンプピットの組み立てをします。

1 ストリームブロックを組み立てます。

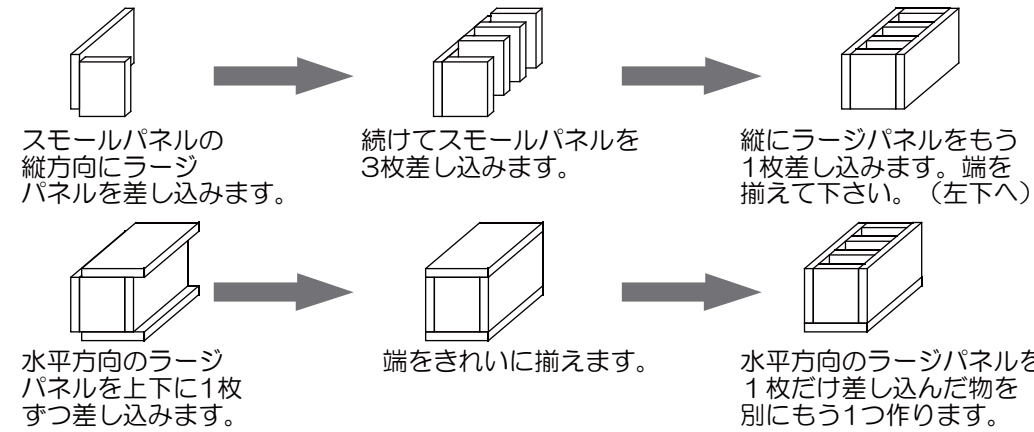
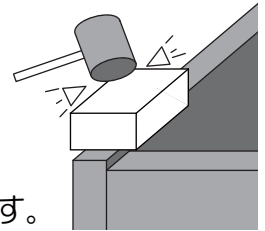
使 う 部 材	E ストリームブロック
------------------	--------------------

組み立てる前に

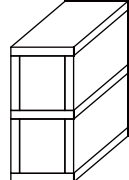
 <p>長い方が縦</p> <p>スモールパネルは縦と横でサイズが若干異なります。長い方が縦になります。</p>	 <p>大：7枚 小：8枚</p> <p>ラージパネル：7枚 スモールパネル：8枚で「ひと固まり」になります。</p>
--	--



木槌などで叩く場合は当て木をして下さい。端が欠ける場合があります。



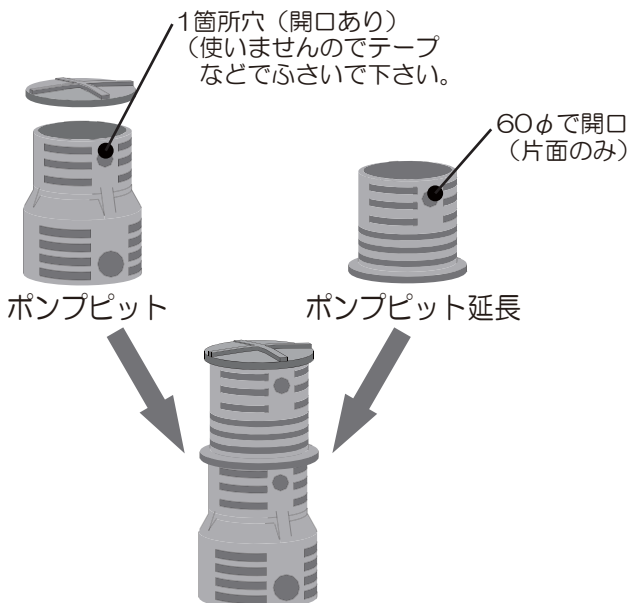
完成



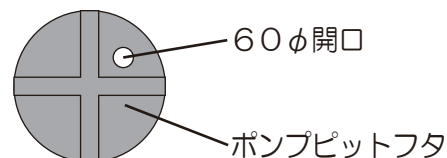
上下に重ねたら完成です。ロングサイズキットでは11つ必要になります。

2 ポンプピットを組立します。

使 う 部 材	C ポンプピット	D ポンプピット延長
------------------	-----------------	-------------------



ポンプピットの本体とフタの間に延長用の部品を取付します。接着する必要はありません。本体には1箇所開口があります。※ストリームキットでは本体の穴は使いません。ポンプピット延長部品に、60φの穴を1箇所空けます。ポンプピットのフタに水位計用の穴(60φ)を開けます。

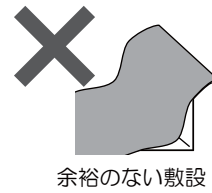


貯水部分の器材設置の方法は2種類あります。
現場状況や重機の有無などに応じて、お選び下さい。

失敗しないポンドシート敷設

One Point!

ポンドシートはたるみが出来る程度に余裕を持たせて、敷きます。突っ張っている部分が出来たら、外側から内側に寄せます。仮固定の間はシワを伸ばす必要はありません。



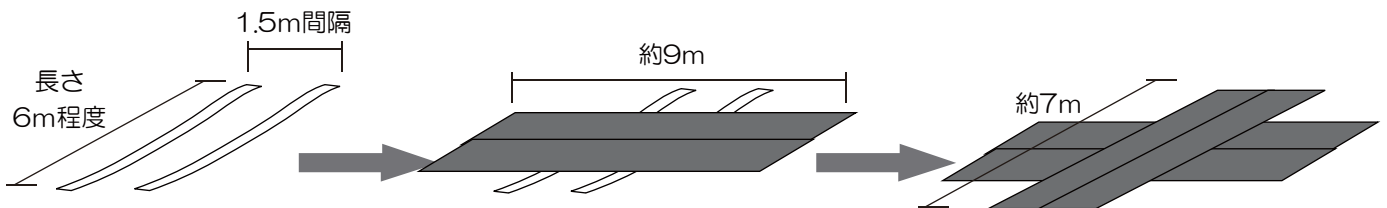
設置手順：3A 貯水部分の設置（重機を使う場合）

ポンドシートと不織布を敷いて器材を設置します。

使う部材	H ポンドシートB 6.0×7.0m	I 不織布 1.0×50.0m : 1巻	手順2で組み立てた ストリームブロック、ポンプピット
------	------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

1 ポンドシート、不織布、ストリームブロック、ポンプピットを準備します。

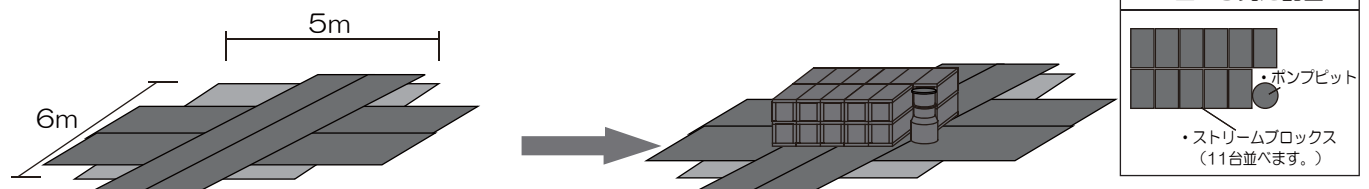
※長さ6m程度の布製吊ベルトをご用意して下さい。



6m程度の長さの吊ベルトを1.5mの間隔に並べます。

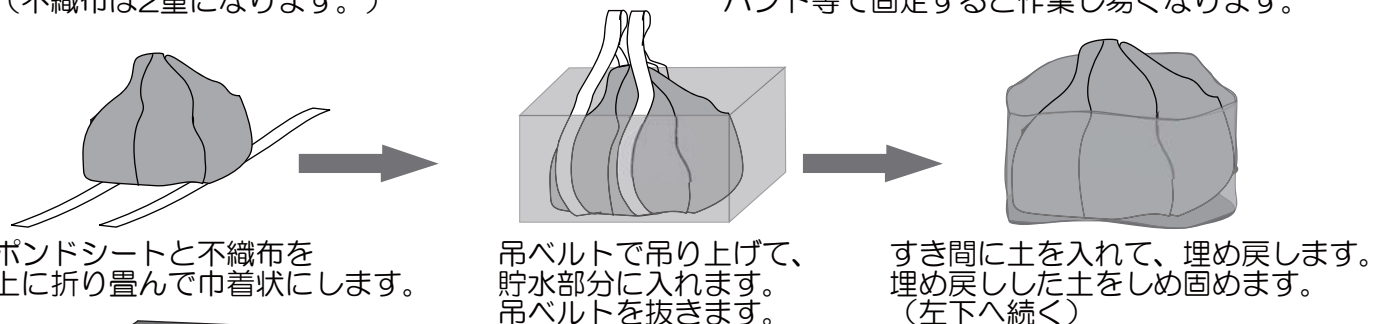
不織布を9m分切って上に乗せます。

7mに切った不織布を2本並べます。
(左下へ続く)



ポンドシートの中心と不織布の中心が同じになる様に重ねて、その上にもう一度不織布を敷きます。
(不織布は2重になります。)

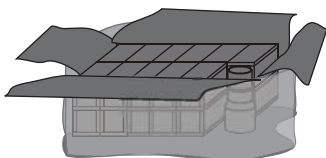
手順2で組み立てたストリームブロックとポンプピットを中心に置きます。
※横列のストリームブロック同士を結束バンド等で固定すると作業しやすくなります。



ポンドシートと不織布を上折り重ねて巾着状にします。

吊ベルトで吊り上げて、貯水部分に入れます。吊ベルトを抜きます。

すき間に土を入れて、埋め戻します。埋め戻した土をしめ固めます。
(左下へ続く)



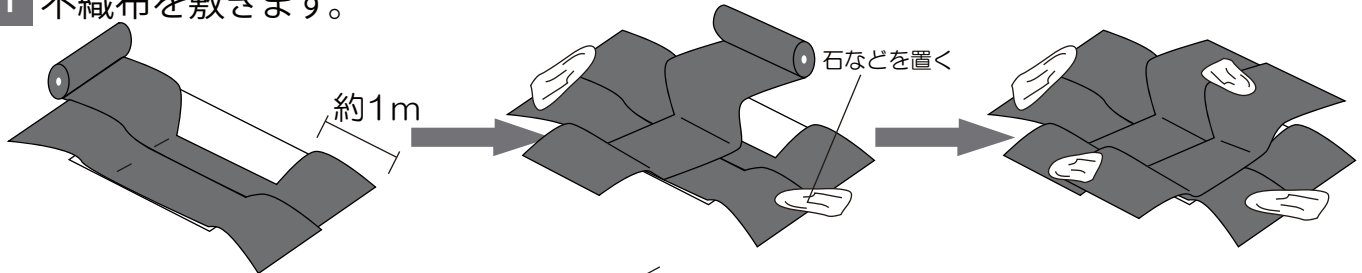
畳んでいたシート、不織布を広げます。

設置手順：3B 貯水部分の設置（重機を使わない場合）

ポンドシートと不織布を敷いて器材を設置します。

使う 部材	H ポンドシートB 6.0×7.0m	I 不織布 1.0×50.0m : 1巻	手順2で組み立てた ストリームブロックス、ポンプピット
----------	------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

1 不織布を敷きます。



縁を1m程度余分に地上出して、不織布を8m分切って、長手方向に敷きます。

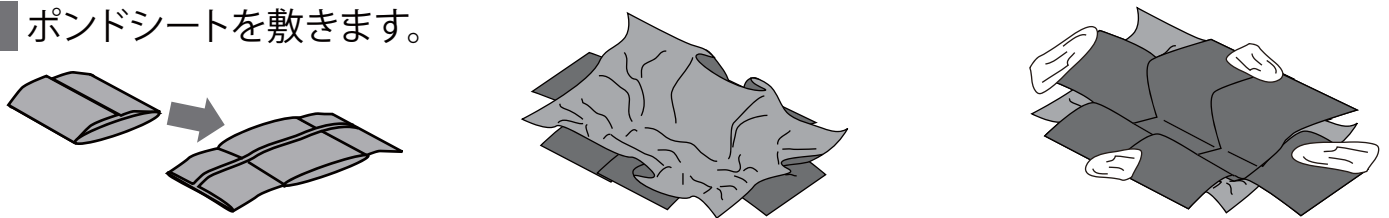
縦方向に7m分切って敷きます。敷いた後は動かない様に、石などを置いて仮固定します。

同様に7m分切って敷きます。

One Point!

不織布やポンドシートは大きさに余裕があるので、突っ張っていたり、伸びている箇所を無くして、地面の形になじむようにして下さい。

2 ポンドシートを敷きます。



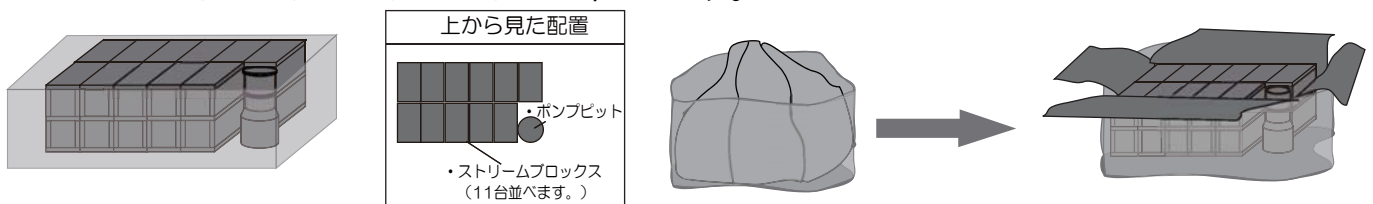
貯水部分の中心にポンドシートを置き、外に向けて広がっていきます。

ポンドシートを広げた状態

不織布を同じ手順で重ねます。（不織布は2重になります。）

ポンドシートはあらかじめ外へ広げられる様に折り畳んであります。畳んだシートの表面に広げた時のサイズが記載してありますので、参考にしてください。

3 ポンプピットとストリームブロックスを置きます。



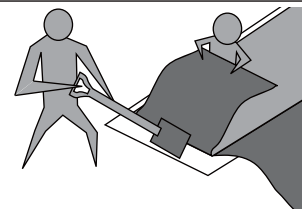
手順2で組み立てたストリームブロックスとポンプピットを中心に置きます。※横列のストリームブロックス同士を結束バンド等で固定すると作業し易くなります

ポンドシートと不織布のハミ出ている部分を内側に折り畳んで、すきまに土を入れて埋め戻し、しめ固めます。

土をしっかり固めたら畳んでいたシートと不織布を広げます。

One Point!

不織布やポンドシートは、ストリームブロックスやポンプピットになるべく密着させ、コンパクトに内側へ畳んでから土を入れて下さい。埋め戻しの際には右図のように二人一組でシートを張る人と埋め戻す人で分担しながら作業をすると上手く出来ます。

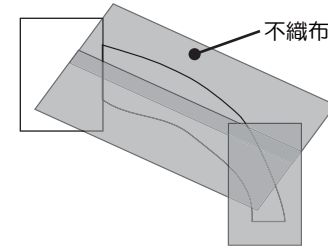
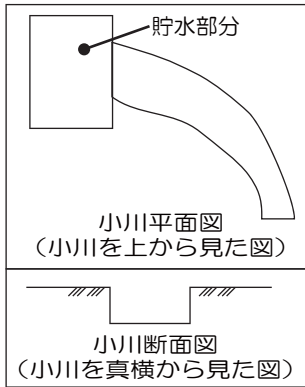


設置手順：4 小川部分のシート仮敷設

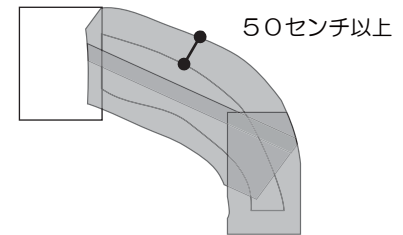
小川部分にポンドシートと不織布を大まかに敷きます。

使う 部材	G ポンドシート A 3.0×11.0m	I 不織布 1.0×50.0m	V プチルテープ 20m(50mm幅)
----------	--------------------------------	---------------------------	-------------------------------

1 不織布を敷きます。

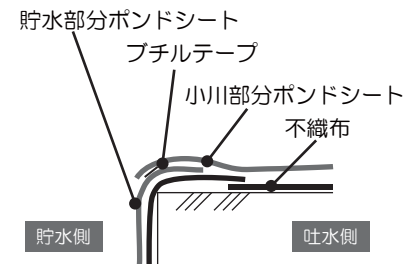
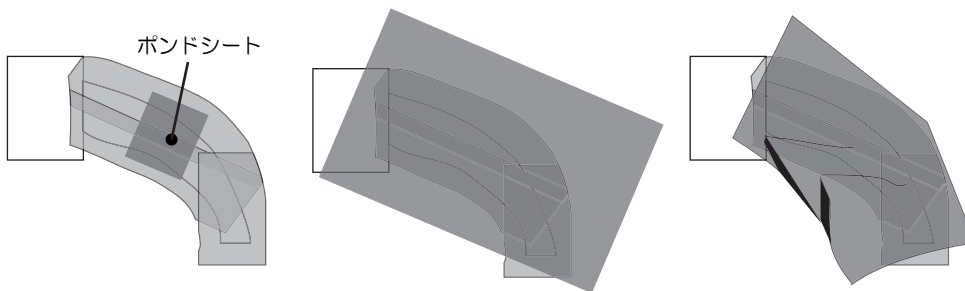


最初はおおまかに直線に敷きます。
「重ねしろ」は最低10センチ以上
取る様にして下さい。
風などで動かない様に石などを
重りにして下さい。



縁を50センチ以上残しておおまかに
切り取ります。

2 ポンドシートを敷いて、貯水部分と貼り合わせます。



断面図

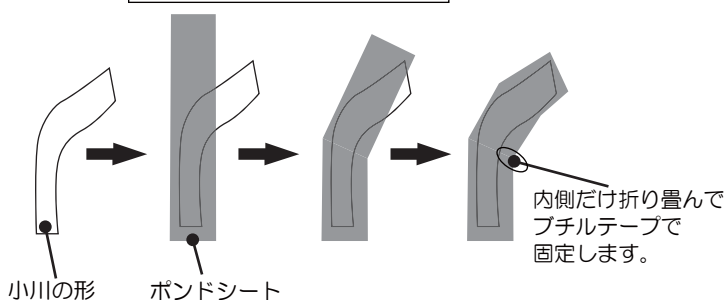
畳んだままのポンドシートを小川の中心に置いて外側に広げます。広げた後で小川の底面と側面に合わせて折り曲げて、突っ張っている部分が出来ないようにして下さい。(8ページ参照) 端部は石を置いた後で仕上げます。

貯水部分のポンドシートが下に来る様にしてプチルテープで貼り合わせます。

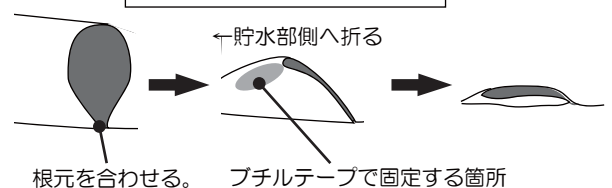
小川の湾曲部分について

湾曲部分が大きい小川の場合、ポンドシートが直線的に敷く事が出来ない事もあります。その場合はカーブする部分を折り重ねていき、プチルテープを使って固定します。切り取りをしたり接着加工の必要はありません。

上から見たイメージ

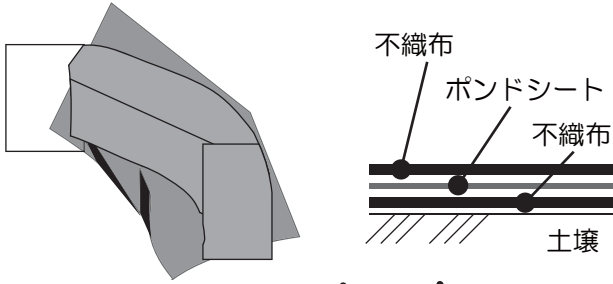


折り畳み加工の手順



余る部分の下側(根元)を合わせて、きれいに半分に分けて貯水部の側に畳んだ後、プチルテープで固定します。全面を貼り付ける必要はありません。動かない程度で充分です。

3 ポンドシートの上にもう一度不織布を敷きます。

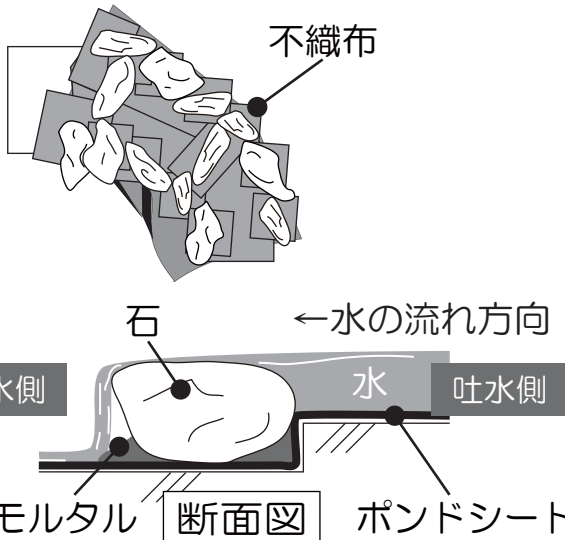


小川部分も貯水部分と同様に3枚重ねになります。余分な不織布は切り取りします。ポンドシートは後の工程で仕上げます。

設置手順：5 大きい石の固定

小川部分に大きい石を配置します。

1 大きい石を置きます。

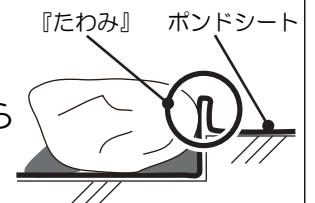


大きい石を置く場所は不織布の端切れを石の底に敷いて保護して下さい。以下の点にご注意下さい。

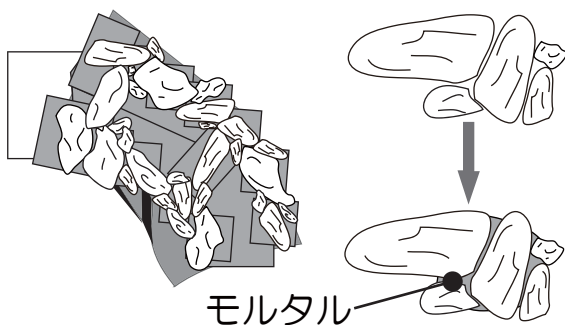
- 水が横へ漏れない様に滝や水深を考慮した大きさの石を設置して下さい。
- 段差部分は降り側に置きます。(左図参照)
- 石の設置は下流から上流へ
- 大きな石から順に設置して水路内のシートが固定されるようにして下さい。

One Point!

シートに余裕がある場合は、上方向に一度たわませてから下側へ通すと段差の手前で水が貯まり易くなります。



2 小さい石で間を埋めて、すき間をモルタルで埋めます。



石はモルタルで固定します。

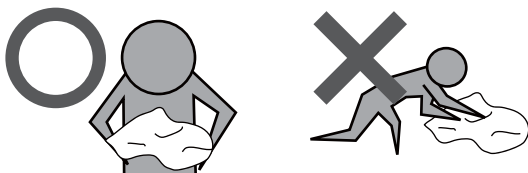
埋めたモルタルは砂利などで隠すようにします。

One Point!

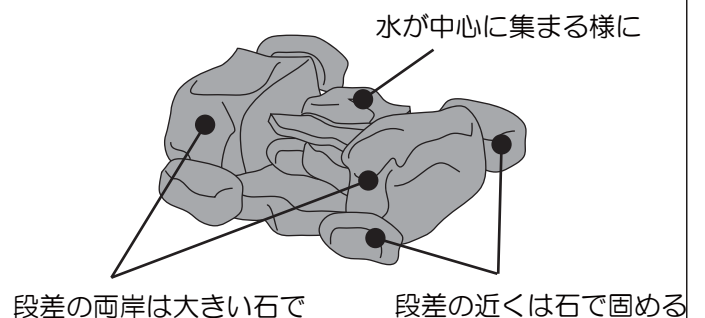
石の設置は下流から上流に向けて順番に設置します。

One Point! • 石の移動方法

石の移動は、必ず持ち上げて行って下さい。引きずるとシートがずれたり破損する原因となります。

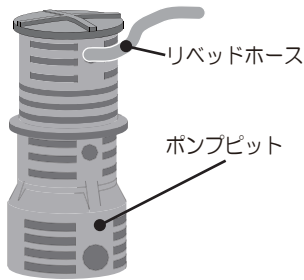


• 段差部分の石積みポイント



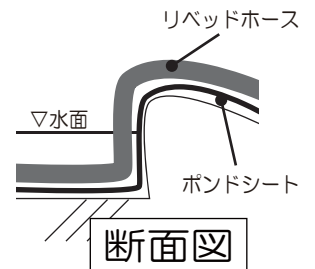
配管の取り回し

ポンプの開口部分からホースを取り出します。
 ポンドシートの外側へホースを回して、
 シートは穴あけ加工はしないようにします。



One Point!

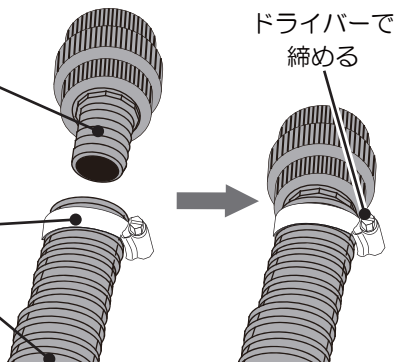
ホースは水面よりも上の箇所
 で、ポンドシートの外側へ出し入れ
 をします。



各配管の切断長さは設置状況に応じて変えて下さい。
 ホースやパイプは無理な「力」が掛かって折れたり、
 ねじれない様に長さには余裕を持たせて下さい。

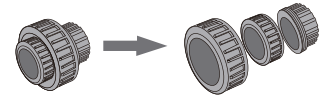
リベットホースの接続

- N 樹脂製ユニオンジョイント
- O タケノコニップル
- M ホースクリップ
- L リベットホース



ホースクリップを通したリベットホースに、
 タケノコニップルを奥まで差し込みます。
 プラスドライバーでホースバンドを締めて
 外れないようにします。

樹脂製ユニオンジョイントは
 回すと外れます。
 詳細は19ページ参照。

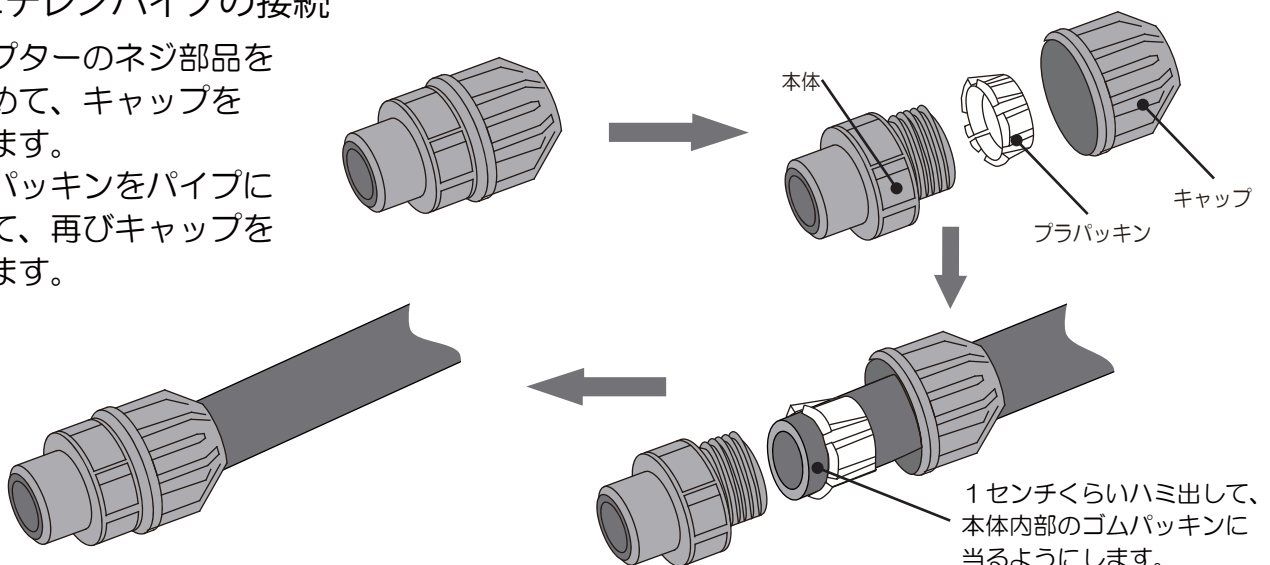


One Point!

ホースやパイプの切り口は出来るだけ
 キレイに平坦になる様にして下さい。

ポリエチレンパイプの接続

アダプターのネジ部品を
 ゆるめて、キャップを
 外します。
 プラパッキンをパイプに
 はめて、再びキャップを
 締めます。



1センチくらいハミ出して、
 本体内部のゴムパッキンに
 当るようにします。

ポンプとストリームフォールの接続は次ページ以降をご参照下さい。

吐水部分の器材設置の方法は2種類あります。
現場状況（ポンドシートの余裕）に応じて、お選び下さい。

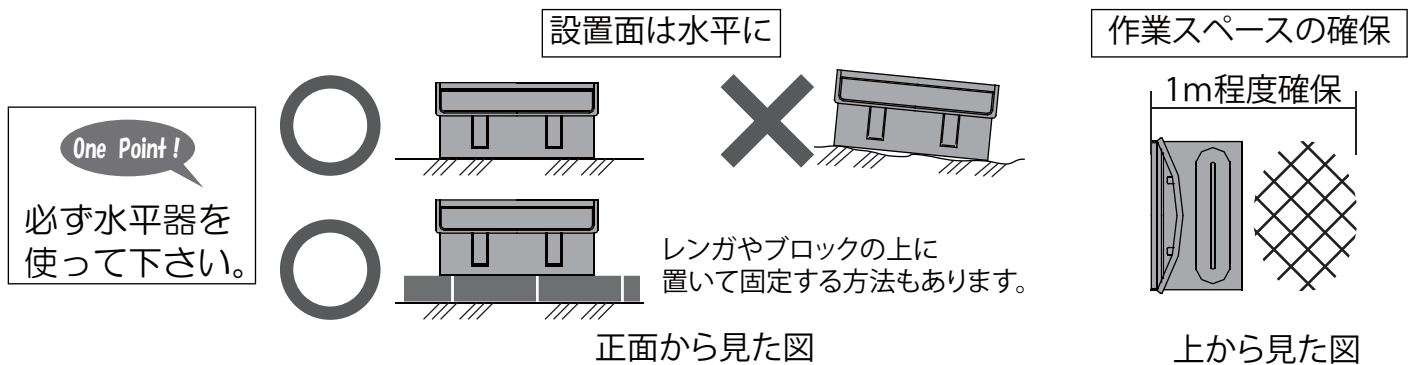
（ストリームフォール）

設置手順：7A 吐水口の接続 （シートに余裕のある場合）

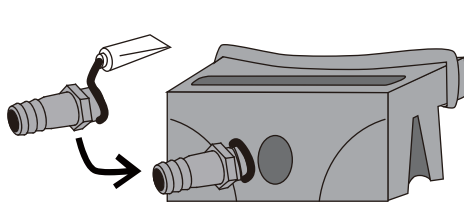
配管と各器材を接続します。

使う 部材	A ストリームフォール	B ポンプ ECO-X13000	手順6で接続した配管に 接続します。
----------	--------------------	----------------------------	-----------------------

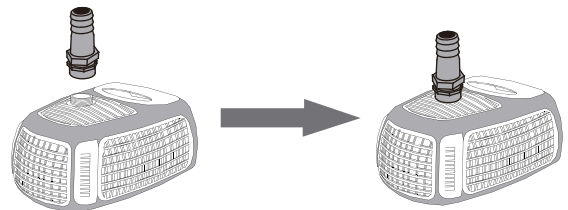
1 ストリームフォールを設置する付近を整地します。



2 タケノコニップルにポンプとストリームフォールを取付して、配管に接続します。 リベッドホースはホースバンドで固定して下さい。（13ページ参照下さい。）

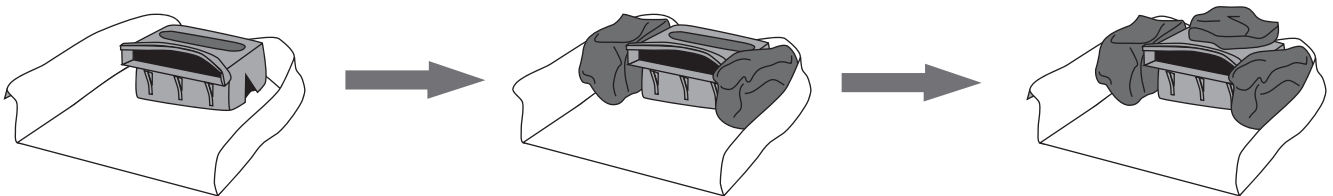


付属のシリコン (Black RTV Silicone) を
1巻程度塗って取付します。



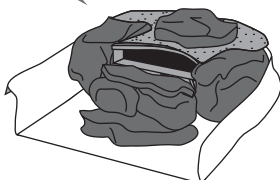
タケノコニップルと樹脂ソケットを
接続します。

3 大きな石を上や周りに置いて、動かない様に固定します。 （必要に応じてモルタルを使用して下さい。）



One Point!

ストリームフォールを上手に隠すポイント



ストリームフォールは水の湧き出す箇所になります。不自然な外観にならない様に
注意して下さい。以下の点を参考にして下さい。

- ストリームフォールの上部を大きい石や岩で隠したり、
上部の凹み部分を利用して花を植える。
- 周囲を石や砂利、植物で囲って吐水口だけ露出するようにする。

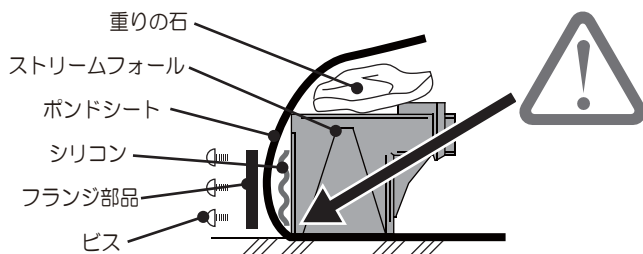
(ストリームフォール)
設置手順：7B 吐水口の接続 (シートに余裕の無い場合)

1は同じ手順になります。その後ポンドシートの加工をして、ストリームフォールを接続します。

作業の前に部品を確認して下さい。

ストリームフォール付属品
 シリコン×1、フランジ部品×1、ビス×5

2 ストリームフォールの上に大きい石を仮置きして、動かない様にします。
 ストリームフォールの背面にシリコンを塗って、ポンドシートを上をめくります。

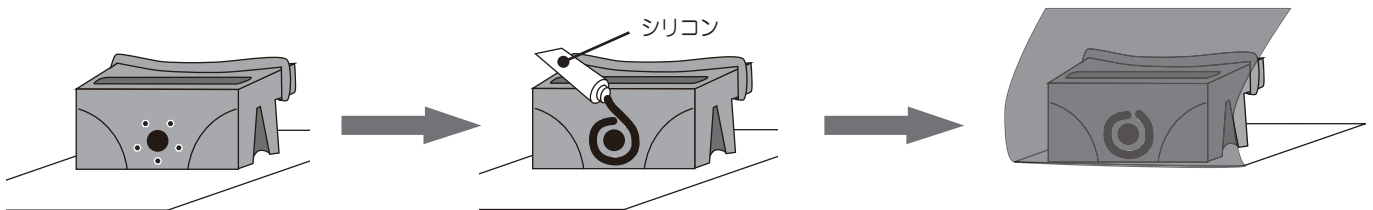


側面から見た図

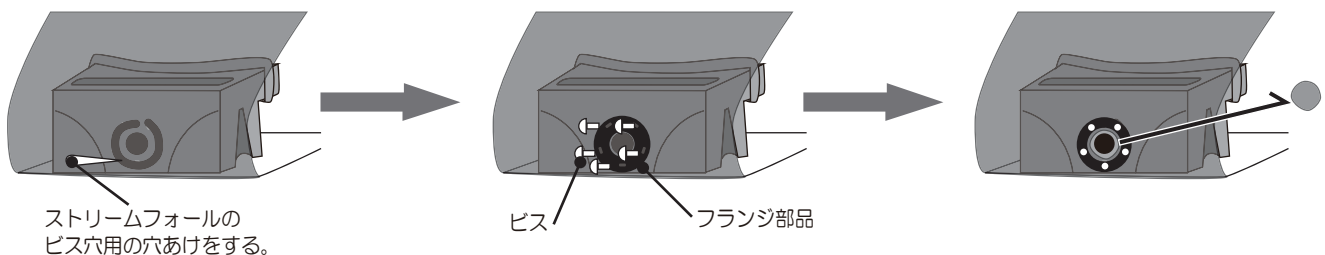
ストリームフォールの角とポンドシートの
 曲げ始めにたるみが出来ない様にご注意下さい。

One Point!

不織布は石などの鋭角な物から
 ポンドシートを保護する為のものです。
 配管接続部分では切り取って下さい。



3 ポンドシートに針や釘などでビス固定用の穴を空けて、フランジ部品を取付します。
 取付したら、タケノコニップルを取り付けるためにポンドシートを切り取ります。



 <p>ポンドシートの 開口について</p> <p>ポンドシートの開口は、穴空け後にシートの 裂け目が広がらない様に円形に空けて下さい。</p>	 <p>角を取ってなるべく 丸い形に近づける。</p>	
---	---	---

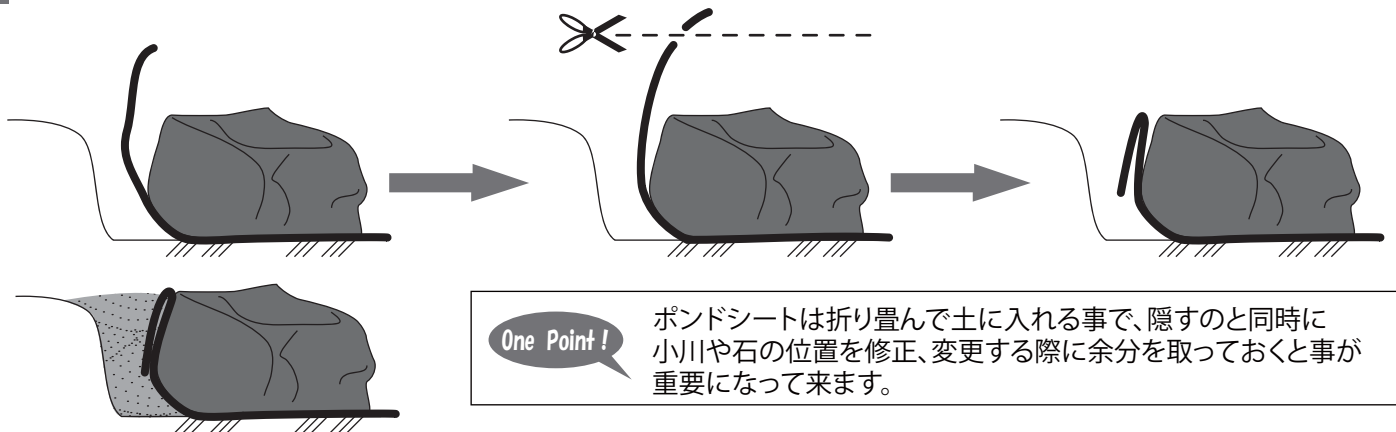
4 ポンプとストリームフォールにタケノコニップルを取付した後、ストリームフォールを
 動かない様に固定します。(14ページ参照下さい。)

設置手順：8 各部分の仕上

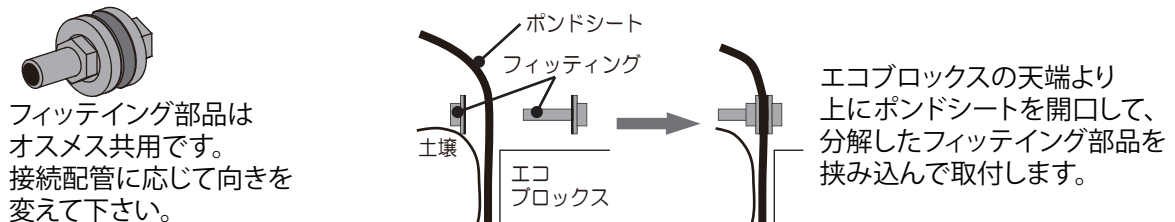
ポンドシートの端部を隠したり、小川全体を仕上げます。

使う 部材	F バルブボックス：2セット	J 水位計ユニット	X フィッティング：1個
	Y 再生樹脂 / 板材：1枚	Z 角パイプ用キャップ：2個	あ アルミ胴縁ブロンズ：2本
	い パラステンレスビス：8本	う GB透水シート：1枚	え 樹脂マット ガードフィルターグレー：2枚

- 1 ポンドシートを50～60センチ程度残して切り取り、小川の内側に折り、土で埋めます。

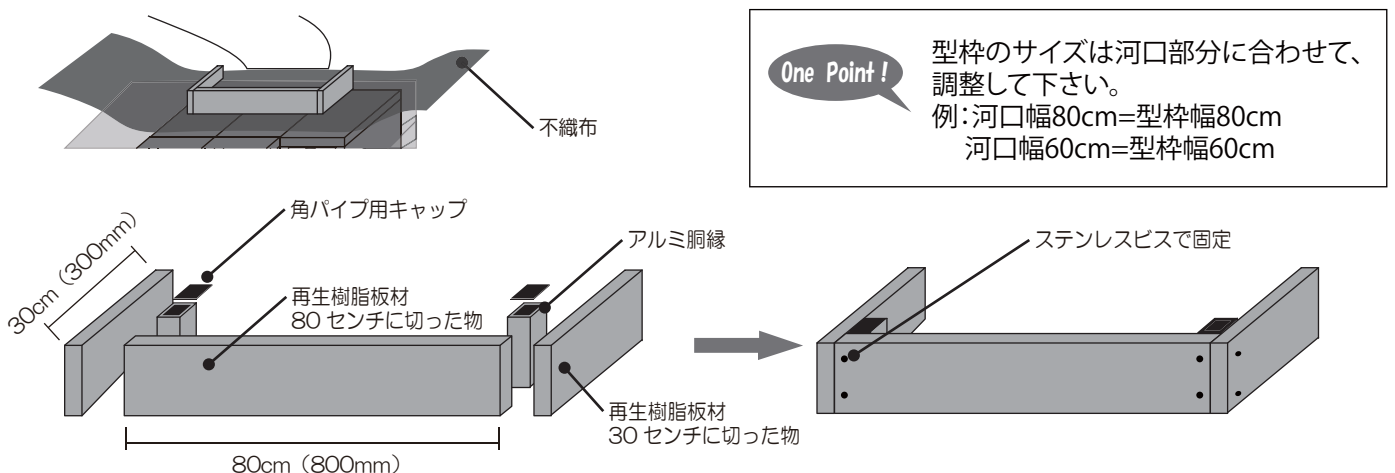


- 2 貯水部分にオーバーフローを取付します。



- 3 ストリームブロックの上を不織布で覆います。

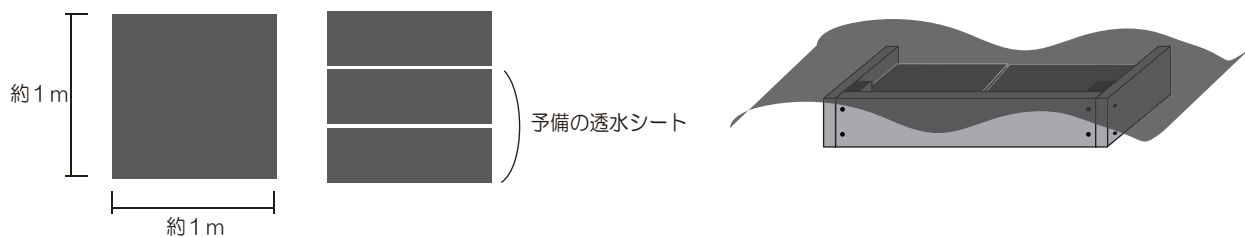
- 4 ストリームブロック上に再生樹脂板材とアルミ胴縁(角材)で型枠を作ります。再生樹脂板材は『80センチ×1』と『30センチ×2』にカットします。(残りは使いません。) 下図を参考に組み立てて、ビスで固定します。
※型枠サイズは河口部分の大きさに合わせて変更して下さい。



- 5 樹脂マットを型枠に合わせてカットします。(残りは使いません。)
※樹脂マットは台形ですので、ご注意ください。



- 6 透水シートを3分割して、1枚だけマットの上に敷きます。
(残りは交換用の予備です。捨てないで下さい。)



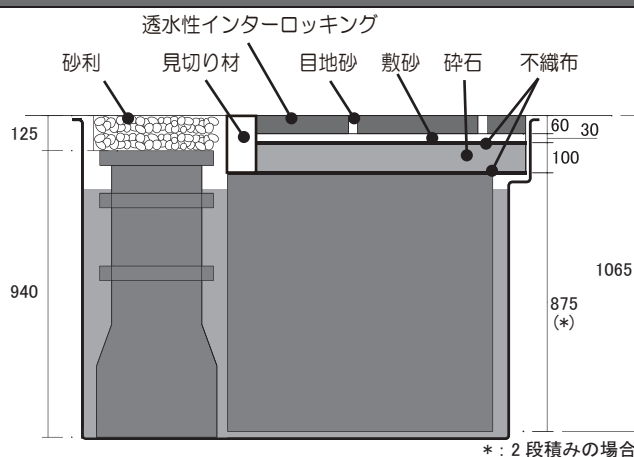
透水シートは全体を覆うようにして下さい。
ゴミなどが堆積して目詰まりしてとれにくくなったら、新しい物と交換して下さい。

- 7 ストリームブロックの上を不織布で覆った後、砂利などで隠します。
(インターロッキング仕上げの施工断面図は下記参照下さい。)

ポンプピットの設置箇所には、水位計が付きます。また、常時メンテナンスの出来る様にしておいて下さい。

- 8 貯水部周辺の装飾を行う前に一度水を貯めて、水漏れや地盤の沈下が無いか確認して下さい。

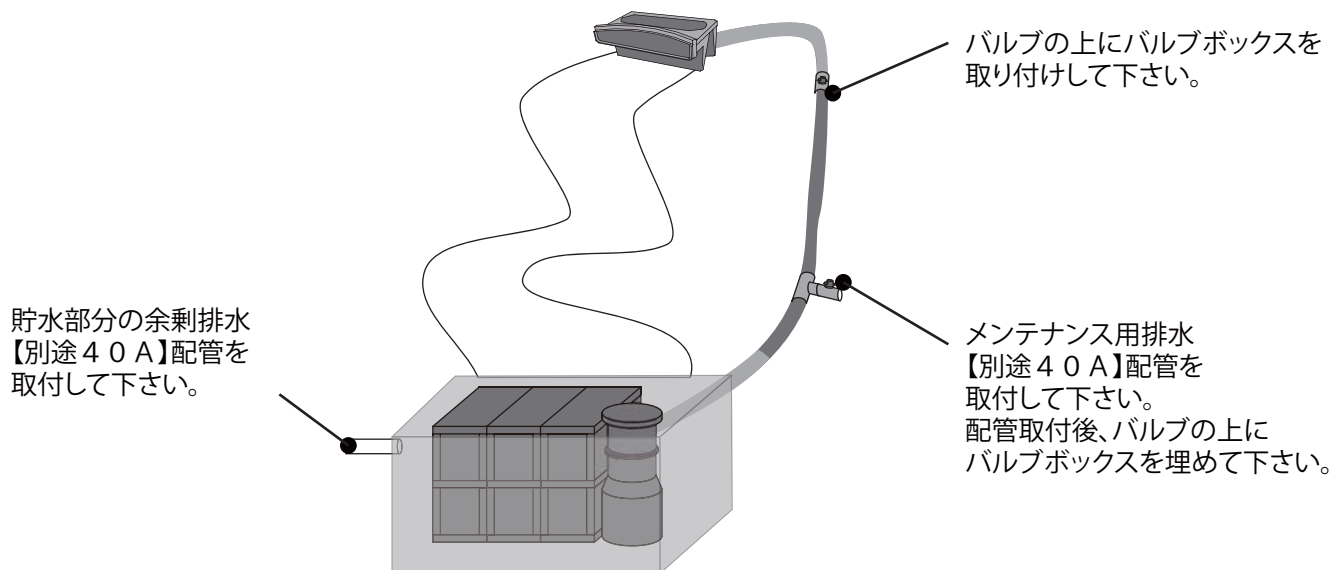
貯水部分のインターロッキング仕上



貯水部分断面図(インタロッキング仕上げ時)

- 車両の乗り入れはしないで下さい。
- 敷砂、砕石への十分な転圧を行って下さい。
- ポンプピットはメンテナンスがし易いようにして下さい。
- 詳細についてはタイルメーカーの歩道・公園向けタイルの施工要領を参考にして下さい。

4 配管を取付して、バルブボックスを設置します。

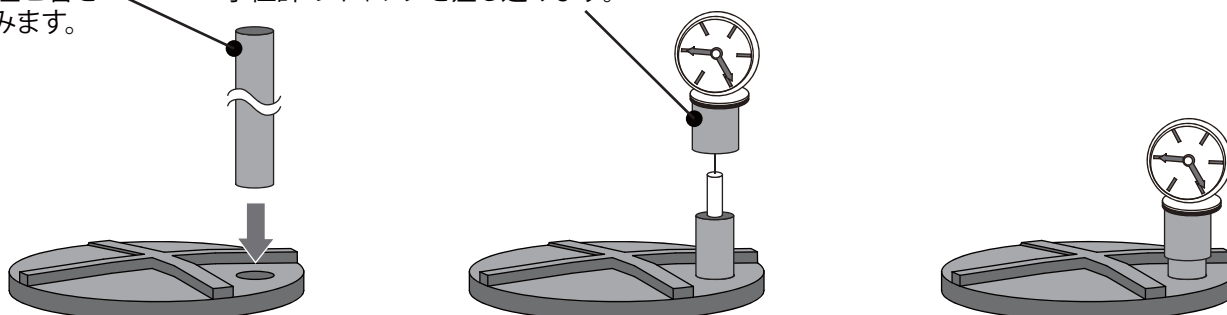


排水管設置の際には、排水勾配の確保と逆流防止の措置を取って下さい。

5 ポンプピットに水位計を取り付けします。

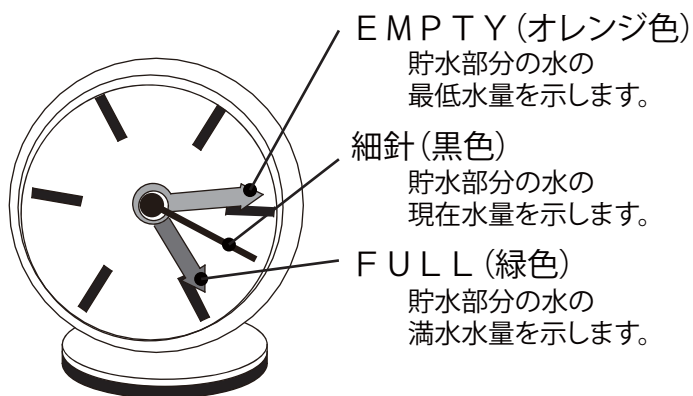
ポンプピットの穴に付属の塩ビ管を差し込みます。

塩ビ管の中に水位計の重りを入れて水位計のキャップを差し込みます。



初期循環時に水の汚れが出た場合は水の入れ替えを行って下さい。

水位計の見方、調整方法

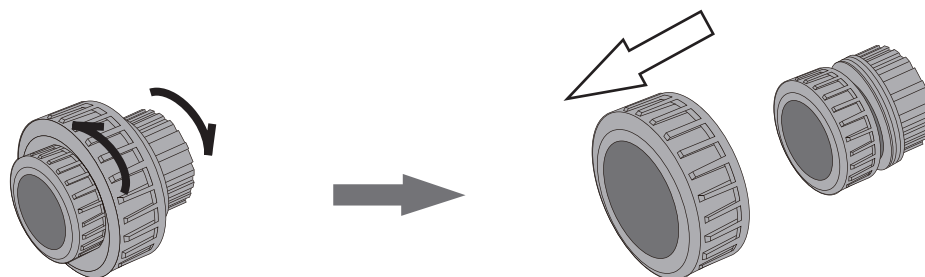


調整方法

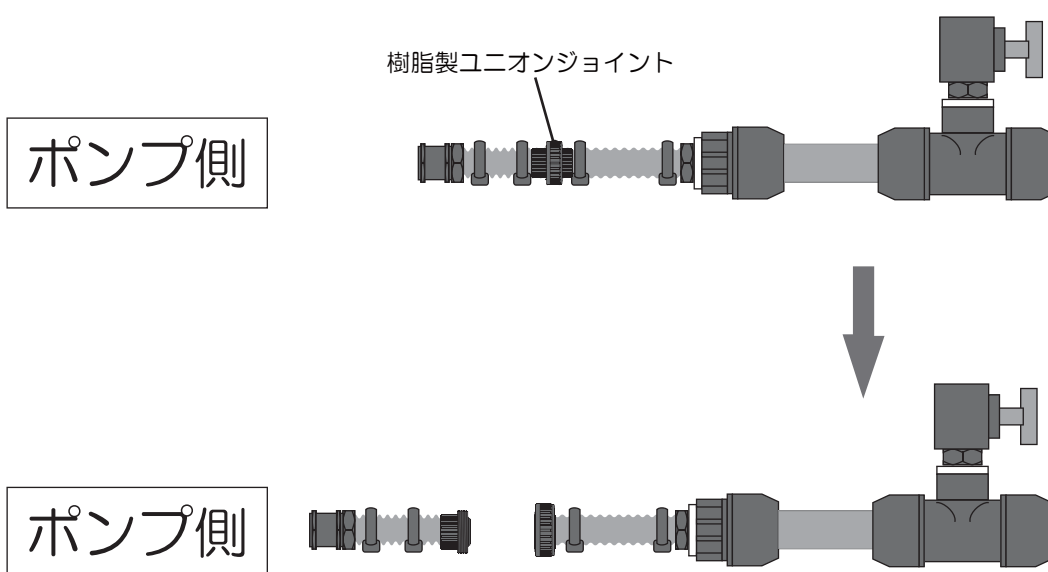
- 1: 水位計の透明カバーを外します。
(マイナスドライバーなどをご使用下さい。)
- 2: 重りを貯水部分の最低水位に合わせて、細針の位置にEMPTYの針を合わせます。
- 3: 重りを貯水部分の満水水位に合わせて、細針の位置にFULLの針を合わせます。
- 4: 透明カバーを元に戻して下さい。

樹脂製ユニオンジョイントについて

樹脂製ユニオンジョイントは設置後に部品を分解せずにポンプを取り外せる便利な部品です。



- 外周の部品とネジで接合してある部品を押さえて回すと外れます。



お願い

ストリームキットはメンテナンスフリーのシステムではありません。

以下の注意事項をご理解頂き、お守り頂いた上で、室内やお庭の清掃と同様に、定期的な清掃やお手入れが必要になります。

ほんの少しのお手入れをする事で、小川にはいつまでも澄んだ水が絶え間なく流れ続けます。

お庭にせせらぎのある暮らしをお楽しみ下さい。

注意事項

- 本製品は水の流れを観賞するもので、水質の浄化機能はありません。清掃用、散水用には転用できますが、飲料用など人体に入るような用途には使用しないで下さい。
- 本製品はポンプで水を絶え間なく循環させる事によって、水の腐敗を抑制させています。定期的には水を入れ替える必要はありませんが、水分蒸発による水位の減少に注意して、ポンプはなるべく稼働状態にしておいて下さい。
- ポンプが稼働して、水が流れ続けていれば、アオコが発生して異臭がしたり、水が濁る事はありませんが、水アカに起因するヌメリや砂埃などの汚れが機器や砂利に付着する事があります。

日常のお手入れ

- 水位ゲージを確認して水が充分にある状態を保って下さい。少ない場合は水を足して下さい。
- 小川の周囲の落葉やゴミは定期的に取り除いて下さい。
- 砂利や石、各機器に、こびり付いた水アカや汚れが気になる場合はブラシなどで擦って汚れを落として下さい。